

令和7年度 生命医科学域セミナーVI

**演題：細胞分化を支えるエピゲノム制御と
この破綻に伴う疾患病態の解明**

演者：永江 玄太 先生

**東京大学先端科学技術研究センター・
特任准教授**

日時：令和7年9月29日(月) 18:00～19:15

会場：健康医科学イノベーション棟8階講堂

要旨：

次世代シーケンサーを用いた網羅的なエピゲノムプロファイルの結果、細胞分化過程ではDNAメチル化やヒストン修飾などのエピゲノム修飾が非常にダイナミックに変化し、生体の発生過程で巧緻な時空間的制御が行われていることがわかってきた。一方で、このような転写制御システムの破綻は疾患発症と進展に深く関与している。多くのがん組織ではがん細胞の細胞分化度の違いや非がん細胞との相互作用が組織像に現れているが、こうした病理組織学的な不均一性をもたらす分子機序についても、この数年発達してきたシングルセル解析や1細胞解像度の空間遺伝子発現解析によって明らかになりつつある。本講演では、消化器がんとその分化可塑性に着目した分子病態を中心に、これまでの解析例について紹介する。